
また貴方のもとで笑います

落ちぶれた天使

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

また貴方のもとで笑います

【Nコード】

N0928Z

【作者名】

落ちぶれた天使

【あらすじ】

組織との決戦が終わって、組織は壊滅して解毒剤も閉静しましたが、コナンは戦いでおった傷のせいでめざめず、四十九時、生と死の世界をさまよいつづけています。そんな中、灰原哀と服部平次がコナンの関係者に、コナンの本当の正体を話しました。その真実に、蘭は二人もの大切な人がいつきに死とのがけつぷちにいると知って、涙がないでもないともりません。少年探偵団も、コナンの生還を願います。和葉や園子も、コナンにかえってきて、もう一度蘭にわらってあげてほしいと心から願い、それに小五郎とえり、和葉と

園子も、これ以上蘭を泣かせないで、早く帰ってきてと願います。

一応新蘭です。結果的にはハッピーエンドなので、ご安心ください

プロローグ（前書き）

はじめまして これからよろしくおねがいします ♪

プロローグ

『巨大犯罪組織壊滅!?!』

このニュースが私達の目の前を真っ暗にさせた。

ニュースの下の方で、この組織壊滅のせいで負傷した人のことが書いてあった。

誰かがめをうたがった。

彼のことを愛する、すべての人が。

『意識不明の重態 江戸川コナン君(7) 重態 服部平次さん(17) 軽症 56人』

どうしてこんなに神様は不公平なんだろう。

ねえ、

優しく、笑ってよ？

あの、生意気な声で、笑みで笑ってよ？

お願い・・・

もう、たえられないよ・・・

プロローグ（後書き）

ではまた

ぼろぼろの再会（前書き）

でわがんばりますく >

ぼろぼろの再会

蘭「お父さん・・・嘘、だよな・・・？」

蘭は頭や肩、おなかなどに包帯をまき、集中治療室で酸素マスクと点滴をつけられ、心拍数のメーターがついていて見るからにいたいたしいコナンを窓の外から見て、崩れおちた。

小五郎「コ、ナン・・・」

蘭「イヤアアアアアア！！」

蘭は泣き叫んだ。

普通なら病院では静かに、といわれるところだが、

他の看護師も、医者も、黙ってコナンと蘭を悲しそうな顔で見つめていた。

そこに少年探偵団、園子、あがさ博士、哀、和葉、松葉づえをついている服部などが到着した。

あとから到着した人も、さっきまではただひたすら心配していたのに、

ただ、

黙ることしかできなかった。

服部「嘘、やろ・・・？工藤・・・？」

歩美「そん・・・な・・・」

げんた「じよ、冗談・・・よせよな・・・？」

光彦「起きて・・・くだ・・・さい・・・よ・・・」

あがさ「新・・・一・・・」

哀「工藤・・・君？」

和葉「嘘やろ・・・？」

園子「がきんちょ・・・？」

子供たちは泣き叫んだ。

のちに警察人たちも到着するが、反応はさつきとまったく同じだった。

心拍数のメーターだけが、悲しく響いた。

蘭「もどって、きてよ？コ、コナンくん！！！！」

和葉「ら、蘭ちゃん・・・」

蘭「コナン君・・・、あのね・・・コナン君が入院しちゃってから、新一に、電話しても留守電だし、メールしても返信かえってこないんだ・・・どうしよう・・・私、私、ひとりぼっちになっちゃった・・・！！！！」

服部「なあ、姉ちゃん、もう、はなしていいんとちゃうか？」

「・哀」そうね・・・組織もつぶれたし・・・いいわ。全部、話すわ・・・

ぼろぼろの再会（後書き）

次回もよろしくっす

決断のとき（前書き）

でわがんばりまっす

決断のとき

哀「江戸川コナンは、この世に存在してはならない人間だわ……」

蘭「え？」

哀「江戸川コナンの正体は工藤新一よ。」

佐藤「でも、コナン君は子供よ！」

哀「APTX4869。工藤君は蘭さんとトリコピカルランドにいったあの日、とりひきを目撃してしまって、APTXを投与されてしまい、幼児化したのよ。もともとAPTXは人を殺す為の毒薬。体から毒が発見されないという代物の試作品。大半は死んでしまうんだけど、工藤君はたまたま副作用で幼児化したのね。そして今回つぶれた組織が工藤君にその薬を投与した組織。その組織に所属しているAPTXを作ったのは他でもない、私よ。コードネームはシェリー。本名は宮野志保で姉を組織に殺されて、反感して、死のうと思って、あAPTXをのんだら、運のいいことに幼児化し、私を逃がしてくれたの。これですべてよ……。」

蘭「うそ……じゃあなんで、何で新一は私にそのこと……」

蘭はそういつと走って病院をでていった。

哀はそれを悲しそうに見つめてからもう一度、他のメンバーのほうを向いていった。

哀「工藤君は、正体がばれると、また命がねられ、まわりの人に危害がおよぶからずっと正体をかくしていたのよ。それだけ、危険な組織だから・・・」

めぐれ「・・・分かった・・・明日、事情聴取がしたいから警視庁にきてくれ。わしはこれで・・・」

警察人たちはそういつとさっていった。

和葉「辛かったんは、またされてた蘭ちゃんだけやのうて、工藤君も、必死に蘭ちゃんや関係者のうちらのために、我慢してたんやな・・・」

園子「うん・・・」

歩美「コナン君が新一お兄さんだったなんて・・・」

げんた「びつくりだよな・・・」

光彦「はい・・・」

小五郎「あの探偵坊主、俺たちのために・・・」

えり「優しい子ね・・・」

園子「ちょっと待って、蘭、もしかしたら、工藤君ずっと自分のことだましてたんだ、なんて勘違いしちゃうかもよ!？」

和葉「せや、蘭チャンすぐさがそ!」

決断のとき（後書き）

ああああああああああああああああ

決心

噓、だよな？新一。

私はかくしてたこと、別におこつてないよ・・・？

だから、だからもどつてきてよ？新一。

また私のつくつたご飯をたべて？

またホームズの話をかかせて？

笑つて？

怒つて？

悲しんで？

愛して？

もどつてきて？

貴方のすべてが愛おしいの・・・！

私は貴方が、大好きなの！！

告白の返事をさせてよ！！

全部ほしいの！！

貴方のすべてがほしいの！！

やっぱり、私はだめだね。

一番辛いのは新一なのに、

自分が一番つらいっておもっちゃうんだ。

ねえ、許してください。

こんな自分勝手な私を許してください！！

貴方を、

まっているから。

私は貴方を愛してる。

だから私はあきらめない！！

絶対に、

絶対に貴方にもう一度、もう一度会って誤りたい！！

もう、

あきらめない！！

頑張れ、新一！

頑張れ、
ワタシ！！

一番強いのは（前書き）

和葉目線

一番強いのは

アタシは走って探偵事務所にやってきた。

2階にかけあがってドアノブをまわしてみた。

静かに音をたててドアノブがあいた。

蘭チャンの部屋の前まで、足音を立てないようにしずかに歩いていった。

部屋の前まで来たとき、蘭チャンのすすり泣く声がきこえたんや。

蘭チャンはこう、いっとった。

『かくしてたことなんておこってないよ?』

アタシは「え?」と声をあげてしまいそうになった。

蘭チャン、おこってなかったんや・・・

アタシ、かんちがいしてたなあ。

工藤君を一番に理解してる子やもん。

そついうことより工藤君を心配するよなあ。

じゃあ蘭チャンはつらくなって・・・

『一番つらいのはワタシじゃなくて新一なのに』

なんでそんなこといえるんやろ？

優しすぎる。

優しすぎるで蘭ちゃんは・・・

アタシだったらもうなきまくってる。

やっぱり蘭ちゃんやね。

心配なかったんやね。

一番つよいのはあんたよ蘭ちゃん。

なア、工藤。(前書き)

平次視点

なア、工藤。

工藤・・・

ねーちゃんをどんだけ泣かすんや？

お前が目覚めなあかんやろ・・・。

ねーちゃんはお前がめざめんからなくて？

俺も人のこといえへんけど、

やっぱりめざめなアカンって思う。

それがお前の、ねえちゃんの一癖のぞむことやろ。

いっつも生意気に真実みすかしてきたんや。

おれらの気持ちもわかるやろ？

俺はお前のライバルや。

俺は西の服部。

お前は東の工藤や。

こんなことでくたばったらゆるせんで。

なア、

工藤・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0928z/>

また貴方のもとで笑います

2011年12月17日19時51分発行